



いいね! ハッピーライフ

多様なワーク・ライフ・バランスを紹介します

～ 男の育児編～

Vol.01

2012年8月

いいね!



教育・学生支援機構 英語教育センター 准教授

中山 晃先生



妻は一人目の妊娠で産休中ですが、それまでは協力して買い物や食事の準備を

だと思っています。

息子が誕生してからは、生活も気持ちも子供がメインにガラッと変わりました。それに結構体力も必要。仕事をする時間を確保するために、きちっと時間配分を考えるようになり、仕事の効率も上がりました。英語教育センターは子育て中の先生もいたりして、理解を得やすい雰囲気だと思っています。

育児経験で変化したこと

息子の保育所送迎が日課で、たまに様子を見に行くと楽しそうに遊んでいますよ。平日は朝と夕方以降しか一緒に入れないので、休日は一緒に過ごすようにしています。

主(二回生(約二千名)の共通教育科目)の英語を担当しています。そのうち、毎年二百名分を担当しているので、愛大生のだいたい10人中一人は、僕の授業を受けている計算になります。

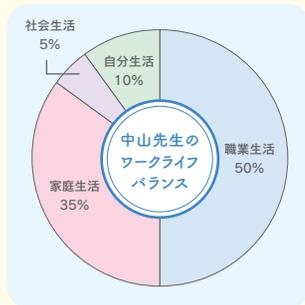
現在の状況について

子どもでできたら「父親スイッチ」がオンにそれは我慢ではなく、自然な変化でした。

学生に向けて

時間がかす限り、積極的に育児に参加しましょう！自分が学生の頃、育児や家庭について全く考えたことはありませんでしたが、今はできないことを「我慢」している意識はありません。自然と気持ちや生活が変化していきました。

ワーク・ライフ・バランスの割合 +++++



♡ 妻からのひとこと

共働きで、お互いの両親とも離れているので、子育てに協力的で助かっています。大学の保育園なので、送迎はほとんど任せていて、夕飯を用意してくれることもあり、大変助かっています。